

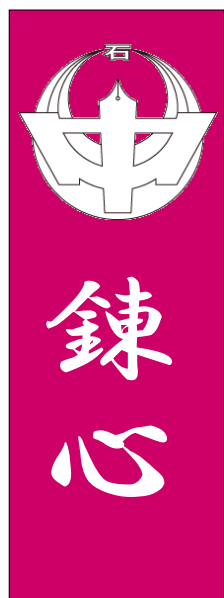


放送朝会による新年のあいさつ

名門石嶺中学校の全校生徒の皆さん、新年あけましておめでとうございます。

2学期後半の初日に当たる今日、生徒の皆さんの元気な笑顔を見ることができて大変嬉しく思います。そして嶺中生の良さでもある、大きな声で気持ちのいいあいさつができること、来校されるお客様が口々に褒めてくださいます。今年もたくさんの方に、元気よくあいさつができる皆さんでいてください。

さて、二〇二四年の元旦から、能登半島地震によって、多くの人々が被災されました。テレビから流れる映像を見ながら、亡くなられた方や、避難生活を余儀なくされて



第8号  
那覇市立  
石嶺中学校  
校長 仲嶺香代

いる方々を思うと心が痛みます。と、同時に、屋根があつて、お布団があつて、普通に水道が使える、家族そろつて笑い合える日常が、どれだけありがたいことなのか、改めて実感したお正月でした。

この当たり前の幸せな日々を、私たちは気づかずに生きています。だからこそ、「何ができるのだろうか?」校長先生も自分自身に問いかけました。まず健康でいること、目の前のことに、一生懸命取り組むこと、小さなことでもちゃんと喜ぼう。たくさん「ありがとう」と言おう。皆さんも普通に学校に登校できて、友達と再会できて、授業を受けることができて、三年生は来週総合テストを受けることができ、一・二年生は部活動が思い切りできて、それはみんな普通だけれども、とても尊い時間を過ごせているんだという気持ちになつたら、一つ一つの向き合い方も変わるかもしれませんね。

石嶺中の先生方は、二〇二四年も生徒の皆さんの「錬の心」が育つような教育活動を展開しよう!みんなが嶺中生でよかつたと思える学校にしよう!と、計画を立てました。「一年の計は元旦にあり」その日から実践していくことが大切です。日々の小さな



な積み重ねも、続けることはとても難しいですが、それをコツコツと大切にできる嶺中生であつてほしいと思います。みんなが今年一年、健康で、安全で、体も心ものびのびと成長できる、そしてしっかりと学力も身に付ける、そんな一年になりますように!と、心から願っています。

最後に、今年辰年です。天を目指す龍のごとく、最強で、最も幸せと書いて「最幸」の石嶺中をみんなのでつくっていきましょう!

